

# ひろしま県議会だより

発行 / 広島県議会 編集 / 広島県議会広報委員会

年4回発行

## 第29号

平成24(2012)年10月

# 9月定例会

- 総額78億6,200万円の補正予算を可決
- 「広島県行政に係る基本的な計画の策定等を議会の議決事件等として定める条例」を可決



比婆道後帝釈国定公園吾妻山地区(庄原市) 新緑から雪景色まで四季折々の景色のほか、登山やハイキングも楽しめる。中国自動車道庄原ICから国道432号、県道255号を經由して約50分

### 議決の状況等

平成24年度補正予算.....	<b>可決</b>	一般会計1件、特別会計1件
平成23年度決算等...	<b>継続審査</b>	一般会計・特別会計1件、企業会計1件
条例案.....	<b>可決</b>	広島県行政に係る基本的な計画の策定等を議会の議決事件等として定める条例など13件
人事案件.....	<b>同意</b>	広島県教育委員会委員の任命の同意についてなど2件
決議案.....	<b>可決</b>	2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議
意見書案.....	<b>可決</b>	尖閣諸島海域への領海侵犯等に関する意見書など6件

### 議決された主な議案

**平成24年度  
広島県補正予算を可決**  
社会資本未来プラン等に基づく防災・減災等強化対策や、さらなる緊急経済・雇用対策のほか、「ひろしま未来チャレンジビジョン」を推進するための事業など、総額78億6,200万円の補正予算を可決しました。

#### 主な事業内容

- 防災・減災等強化対策 32億7,900万円  
防災上重要な公共土木施設等の整備、維持管理の強化
- 緊急経済・雇用対策 3億100万円  
市町の雇用対策関連事業への支援など雇用機会の創出、暮らしの安心緊急確保対策など
- 「ひろしま未来チャレンジビジョン」の加速化 13億700万円  
高精度放射線治療センター(仮称)の用地取得、瀬戸内しま博覧会(仮称)の開催準備、民間保育所整備への助成など
- その他 29億7,500万円  
本州四国連絡道路に係る追加出資、財政調整基金への積立

**広島県行政に係る基本的な計画の策定等を議会の議決事件等として定める条例を可決**  
広島県議会基本条例に掲げた議会改革を具体化する取り組みの一つとして、これまでの予算案や議案に加え、県の総合計画を新たに議決の対象とすることなどを定めた条例案を可決しました。

#### 広島県産業廃棄物埋立税条例の一部を改正する条例を可決

産業廃棄物の排出抑制、リサイクル等を引き続き推進するため、産業廃棄物埋立税の課税期間を5年間延長するとともに、循環型社会の形成に関する施策の費用に充当できるようにする条例改正案を可決しました。

## 九月定例会の概要

広島県議会は、九月定例会を九月十九日から十月三日までの十五日間の会期で開きました。

今回の定例会では、「平成二十四年度広島県一般会計補正予算」や「広島県行政に係る基本的な計画の策定等を議会の議決事件等として定める条例」などの二十六議案について審議を行いました。

このうち、九月二十七日に設置した決算特別委員会で閉会中に継続審査されることとなった、平成二十三年

広島県議会は、九月定例会を九月十九日から十月三日までの十五日間の会期で開きました。

本会議においては、環境・エネルギー対策、産業・観光振興、医療・福祉施策、教育問題、中山間地域対策などの県行財政上の諸課題について、十二人の議員が一般質問を行いました。

また、各常任委員会においては、付託された各議案などについて審査・調査を行いました。

年度決算認定等」を除いて、いずれも原案のとおり可決しました。

### 9月定例会日程 (平成24年9月19日～10月3日)

9月19日	本会議 [ 開会、提案理由説明など ]
9月20日	全員委員会 [ 提案事項の説明など ]
9月24日～27日	本会議 [ 一般質問など ]
9月28日	各常任委員会
10月 2日	決算特別委員会
10月 3日	本会議 [ 委員長報告、議案の採決など、閉会 ]





# 県政に関する質問から

本会議では、9月24日から27日までの4日間にわたって12人の議員が一般質問を行い、環境・エネルギー対策、産業・観光振興、医療・福祉施策、教育問題、中山間地域対策などの県政が直面する諸課題について、県民の視点に立った論議を展開しました。

紙面の都合上、1人2問以内で掲載しております。

9月24日一般質問(要旨)



こたま ひろし 議員  
児玉 浩 議員  
自民会議 安芸高田市

**問** 中山間地域における観光振興策「瀬戸内海の道構想」に負けず劣らず、中山間地域における観光振興策を展開すべきだと思ふが、集客力の強化と新たなイベントの開発・定着に向けて、市町とどのように協力的体制を築き上げ、推進していくのか。

**答** 市町の観光振興計画の核となる事業を支援するとともに、教育旅行の誘致にも積極的に取り組んでいる。今後は、島根県と連携して周遊ルートを開発を進めるとともに、市町との連携を強化して、来年度夏の「デスティネーションキャンペーン」に向けた観光素材のさらなるブラッシュアップや、旅行商品の造成支援などにも取り組む。

**用語解説** **デスティネーションキャンペーン**  
JRグループ旅客6社と自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーン。広島県では、平成17年の「ええじゃん広島県」以来の実施。

**問** 農業の担い手の確保と育成対策 就農時の所得の確保や技術の習得に関する悩みなどを解消し、安心して農業に取り組める環境を整える必要があるが、将来の担い手の確保・育成に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**答** 園芸作物の導入等による収益の確保や、経営スキルの向上を図るための研修など、集落法人等の経営力を高める取り組みを進めるとともに、国の交付金を活用し、幅広い地域で新規就農者が育成できるよう支援している。こうした取り組みを進めて、県、市町、農協等が一体となった新規就農者の育成システムを構築する。

9月25日一般質問(要旨)



ふくち もとひろ 議員  
福知基弘 議員  
民主県政会 広島市西区

**問** 産業・雇用対策としてのスマートシティ推進について スマートシティに関するサービスマーケット規模は、二〇三〇年までの累計で約千兆円と試算され、経済成長や雇用拡大が見込まれる産業である。スマートシティ推進に向けた民間企業共同体を県が主導して作るなど、独自に取り組むことについて、所見を伺う。

**答** 本県での取り組みは、緒にいたばかりであり、引き続き、国等の動向を注視するとともに、地域企業の意欲やニーズを踏まえて、スマートシティの推進による県内経済への波及効果等について検討していく。

**用語解説** **スマートシティ**  
情報通信技術を活用し、エネルギー、交通、建物などの社会インフラを効率的に整備・活用する都市のことで、我が国の新成長戦略として注目されている。

**問** 高齢者が安心して暮らせる居住スペースの確保について 郊外団地の住宅老朽化や高齢化が進む中、市街地活性化とあわせて、高齢者が安心して暮らせるよう、医療介護施設等と連携した居住スペースを確保する必要があるが、その取り組みについて伺う。

**答** 本年三月に「広島県高齢者居宅安定確保計画」を策定し、サービス付き高齢者住宅等の供給を促進している。また、公営住宅に社会福祉施設を併設するなど、市町と連携したモデル事業にも取り組んでいる。高齢者が安心して暮らせる住環境の整備に努め、コンパクトシティ化を推進していく。

9月25日一般質問(要旨)



かわい あんり 議員  
河井案里 議員  
自民会 広島市安佐南区

**問** 中核拠点機能維持のためのインフラ整備 広島市が中・四国地域の経済の中心であり続けるためには、ソフト・ハード両面の整備が必要であるが、それは広島市だけに任せられるものではない。道州制導入後も中核都市として、地域経済の高次都市機能を維持し、高めるため、県はどのような整備を行うのか。

**答** 広島高速道路などの都市基盤整備等に加え、広島都市圏の活性化策の調査・検討を行い、その具体化に向け、広島西飛行場跡地の利活用策等の検討を進めている。今後、広島市と良好な関係を築き、中核拠点性の向上に取り組んでいく。

**用語解説** **高次都市機能**  
中核都市としての役割や周辺市町を含めた広域圏を対象とする施設集積による教育、文化、医療、行政、産業情報等の諸機能のこと。

**問** グローバル経済の中での製造業の進むべき方向 為替変動や新興国の台頭などによる激しい国際経済情勢のもと、企業は、生き残りをかけて海外移転や部品の海外調達に方向転換しているが、県として、県内製造業が志向すべき方向をどのように考え、支援すべきと考えているのか。

**答** 製造業には、付加価値を高めることによる国際競争力の強化や新興国市場での幅広い事業展開等が求められている。県では、新技術導入等への助成、イノベーション創出に必要な人材育成支援のほか、海外市場参入・獲得について、重点的な支援を行っている。

9月25日一般質問(要旨)



たなべ ただし 議員  
田辺直史 議員  
公明党 福山市

**問** 子供に対するがん教育の必要性 小中学校において、がんの予防啓発の教育を行うことは、がんに対する正しい理解の促進だけでなく、家庭においても、がん検診を受けるように子供から勧められるなど、親の世代のがん検診の受診率向上の効果をもたらすと思ふが、所見を伺う。

**答** 本県でも、次期がん対策推進計画の検討において、子供に対するがん教育の重要性の議論が進められている。本人のみならず家族に対してもよい効果を与えることから、今後、がん教育をどのように進めていくべきか、教育関係者・機関とも協議していく。

**用語解説** **がん地区の新たな地域振興策**  
がん地区の再生・活性化を目指す県の方針。山側トンネル整備や高潮対策、防災拠点の確保等による生活利便性の向上とまちづくり基金事業による歴史的文化遺産等の保全・活用などを盛り込んでいる。

**問** がん地区の新たな地域振興策 がん地区の新たな地域振興策にも盛り込まれているが、下水道整備など地元住民のニーズを踏まえ、地元住民の合意形成を図っていくためにも、まちづくり基金を定住対策の柱に据えて、活用していくべきであると思ふが、所見を伺う。

**答** がん地区の新たな地域振興策に創設する「まちづくり基金」の具体的な運営方法等については、福山市や地元の見解も伺いながら決定していきたい。がんの住民が、がんの歴史と伝統に誇りを持ち続け、安心して生活が送れるように、県と福山市が一体になってがんの再生・活性化に取り組む。

9月25日一般質問(要旨)



みやざき やすのり 議員  
宮崎康則 議員  
自民会議 広島市佐伯区

**問** 犯罪被害者への支援について 犯罪被害者支援策の重要性とそれを行う民間団体の意義をどのように認識しているのか。継続的できめ細かな被害者支援のために、県として、犯罪被害者等早期援助団体への支援を含む積極的な施策展開が必要であるが、所見を伺う。

**答** 犯罪被害者が再び平穏な生活を営むためには、多岐にわたる支援が重要であり、被害者に寄り添い、きめ細やかな対応ができる民間団体の活動は、重要な役割を果たしている。今後とも、関係機関や団体との連携を強化し、総合的な支援を行っていく。

**用語解説** **犯罪被害者等早期援助団体**  
都道府県の公安委員会が指定した営利を目的としない法人で、犯罪被害者からの相談受付や、裁判の付き添いや代理傍聴などを行う。本県では広島被害者支援センターが指定されている。

**問** 佐伯警察署の新設に伴う防犯組合連合会の設立支援について 来年九月の佐伯警察署(仮称)の新設を契機に、「なくそう犯罪」に向けた住民総ぐるみの運動を充実させていくため、佐伯区をエリアとする自主防犯活動の推進母体となる防犯組合連合会の設立が必要であるが、その支援についてどのように考えるか。

**答** 新たに佐伯区を管轄する防犯組合連合会の設立に向け、県防犯連合会や同区役所等と緊密に連携し、支援を行う。佐伯警察署(仮称)において、新たに立ち上げた地区防犯組合連合会と連携して、安全・安心なまちづくり活動を推進していく。

9月25日一般質問(要旨)



すなはら かつのり 議員  
砂原克規 議員  
自民党広志会 広島市西区

**問** 水みらい広島の海外事業展開 新たな県営水道事業の運営体制の整備に向けて、県と民間企業が共同出資した株式会社水みらい広島は、定款の目的に海外での事業展開が記載されているが、その実施時期はいつで条件は何か。また、その判断はだれが行うのか。

**答** 県内で維持管理の実績・経験が十分に積んでいること、財務や組織等が備わっていること、さまざまな課題やリスクに対応した検討が十分に行われていることなどの条件が整った段階で、取締役会において意思決定される。

**用語解説** **株式会社水みらい広島**  
県営水道事業の指定管理業務等を行う株式会社。県が35%、公募選定したパートナー企業の水ing株式会社が65%を出資し、本年9月に設立された。水ingは、荏原製作所・三菱商事・日揮の三社提携による総合水事業会社。

**問** リスクを伴う海外事業は行うべきでない。この事業の仕組みは、発注・受注・監督・評価のすべてを県が行うため、甘え等が発生する。また、県は、この会社の株式の三五%しか保有していないが、経営権を支配するためには、五〇%超を持つべきである。さらに、議会の事前のチェックが十分にできないのも問題がある。これで適正な運営ができるのか。

**答** 海外展開を含め、重要な経営事項は、取締役である県の事前の同意が必要であると定款に定めている。議会に対しては、経営状況・決算・事業計画等を適宜適切に報告を行い、審議を経た上で、その意見を経営に反映していく。





9月26日一般質問(要旨)



おきい じゅん 議員 江田島市 自民会議

小規模県立高等学校の活性化

小規模校では、現在、近隣校との連携などが試みられているが、さらに、教員の質、外部の人材、生徒数の確保などにより活性化を図るべきではないかと思うが、どのように取り組んでいくのか。

答 教員について、学校や地域の状況を考慮しながら、適材適所の配置となるよう努めるとともに、外部人材については、知識や技能を有する人材の協力が得られるよう学校を支援していく。また、地域の高等学校への転入学の要件緩和について、入試制度との整合性を考慮しながら検討していく。

用語解説 小規模県立高等学校

県立高等学校再編整備基本計画において、1学年3学級以下の学校を指す。地域性や生徒数の推移などを踏まえつつ、学校統廃合を検討する対象となっている。



感染症への対策

感染症対策は、がん対策の影に隠れがちであるが、日常的な対応に加え、非常事態発生時の対応も要求されるため、行政の力量が問われる分野である。危機管理体制の整備について、どのように取り組んでいくのか。

答 来年度末までに、新型コロナウイルス感染症への対策についての行動計画を策定することとしている。また、都道府県では全国初となる感染症の管理センターを来年四月に開設することを目指し、初動体制の整備などについて検討を進めている。加えて、感染症対策の実地訓練研修へ職員を派遣している。



たかはしまさひろ 議員 民主県政会 安芸郡

スクールカウンセラー等の増員

いじめは、いかに把握し対応するかが重要であるため、現行の相談対応を中心とした受け身の体制ではなく、児童生徒への積極的なアプローチが必要である。文部科学省ではいじめに対応するスクールカウンセラー等の増員を決定しており、本県でも検討する必要があると考えるが、所見を伺う。

答 いじめ問題に対応する学校体制を充実させることは大変重要である。いじめの早期発見と適切な対応を促進するため、今後とも、国の動向を注視していく。

用語解説 スクールカウンセラー

児童生徒・保護者へのカウンセリングや教育相談に携わる教職員に対して助言・援助等を行う専門職。市町から要望に応じて県内の小・中・高等学校に派遣している。



広島ブランドショップの設置場所

同ショップは、本県の魅力を発信する首都圏の拠点として大切な役割を担うものであるが、先日、実際に行ったところ、入り口がわかりにくいと感じた。また、多くの方からも、場所がわかりにくいと指摘されている。この課題への認識と改善方法を伺う。

答 多くの利用者等から場所のわかりにくさを指摘されていることから、正面入り口に広島地名や店舗情報を盛り込んだ看板等を設置した。今後はショップ自体の認知度を高めるため、情報発信を強化するとともに、店舗正面のマルチスクリーンや道路に面した建物部分を最大限活用することで来店者の増加を図りたい。



こばやしひでのり 議員 良政会 庄原市

中小企業対策等について

来年三月末で中小企業金融円滑化法が期限を迎え、中小企業の資金繰り悪化が予測される中、県内金融機関等が、せとみらいファンド」を創設するとの報道があった。今こそ、県の積極的な資金繰り対策が非常に重要と考えるが、ファンドに対する意見とあわせて伺う。

答 金融機関、信用保証協会、商工会議所、県等からなる、広島県中小企業支援ネットワークを近々に構築し、経営改善や事業再生の支援に努めるとともに、県としての支援策も検討する。ファンドは事業再生等に取り組む中小企業の支援に資するものと期待している。

用語解説 中小企業金融円滑化法

中小企業等が金融機関に返済負担の軽減を申し入れた際に、できる限り貸付条件の変更等を行うよう努めることなどを内容とする法律。



中山間地域対策基本条例の制定

住民参加型の条例を策定し、行政、議会、地域住民が一丸となって過疎対策に取り組めば、若者が希望を持ち、幸せを実感しながら中山間地域で暮らせると確信している。条例の必要性について所見を伺う。

答 中山間地域対策は、緊急かつ最優先課題であるとの認識のもと、地域医療や生活交通など具体的な対策を重点的に実施しており、今後とも、魅力あふれる地域となるよう全力を挙げて取り組んでいく。条例制定については、引き続きその意義、効果など、他県の取り組み等を踏まえて検討していく。

9月27日一般質問(要旨)



みよしりょうじ 三好良治 議員 自民会議 福山市

難聴児への補聴器購入費の助成

身体障害者手帳を持たない中等度・軽度の難聴児に対しては、補聴器購入費の補助制度がないため、自治体独自で助成制度を設ける動きがある中、中国五県では広島県だけがない。市町とも連携し、助成制度を創設することを強く求めるが、所見を伺う。

答 補聴器購入費に係る支給制度を所管する国に対して、これまで、対象範囲の拡大など、制度見直しを提案してきたが、国の動きが見えないため、市町とも連携し、軽度・中等度の難聴児を対象とした独自の助成制度を検討したい。

県道松永線の慶応浜地区の整備

県道松永線の慶応浜地区は、交通量が多いにもかかわらず、幅員が狭く、地域住民から改善が要望されている。観光振興の観点からも、バイパスによる渋滞緩和と安全確保が指摘されているが所見を伺う。

答 同路線は、福山市轄地区と松永地区を連絡する主要な幹線道路であり、尾道と瀬戸の浦とを結ぶ広域観光ルートとして観光振興を図る上でも重要な路線である。このため、広島県道路整備計画二〇二一」に位置づけ、関係機関との協議や調査を行っており、今後、地元への説明を行い、早期に事業着手できるように取り組む。



かんばらとしひろ 議員 民主県政会 広島市東区

広島高速5号線の事業判断

脆弱にもかかわらず五百世帯以上の住宅が密集する危険な造成地の真下に、被害をもたらすことなくトンネルを掘ることができないのか疑問である。被害が発生しないことが科学的に検証され、住民の安全が保障されない限り、事業判断はできないのではないか。

答 トンネル安全検討委員会の審議過程で見解の相違のあった、沈下解析モデル等への安全性に関する主張について、現在、その科学的妥当性の検証を行っている。今後、事業判断に向けて早急に検証を進め、地域の住民生活の安全性について確認していく。

用語解説 広島高速5号線

広島駅周辺と広島空港間の高速性・定時性を確保する目的で建設が計画される都市高速道路。広島高速1号線温品JCTとJR広島駅北側を結び、総延長は約4km(うちトンネル部分が約1.8km)。

広島高速5号線建設に対する所見

この道路は、広島空港への時間短縮効果が期待できないにもかかわらず、多くの住民に大変な被害や迷惑を及ぼし、将来的にも莫大な財政負担を伴うものであるため、断じて建設を許すことはできない。知事の良識ある判断で止めてもらいたい。率直な気持ちで伺う。

答 私自身も、現地を視察し、地域住民の声を直接聞き、安全性確保の重要性も認識している。安全検討委員会の報告書を読み、地域住民の安全性の確保を含め、事業費や採算性など、必要な検討を行った上で、広島市長と十分に協議し、最終的に判断してまいりたい。



まさひろ 議員 自民会議 広島市東区

二葉の里地区での医療拠点整備

最先端の医療施設を整備することに、最新の医療を求めて国内外から人が集まること期待できる。広島都市圏の活性化の観点からも、広島駅北側の二葉の里地区に、粒子線治療装置導入の可能性を含めた医療拠点の整備を検討すべきと考えるが、所見を伺う。

答 同地区において、高精度放射線治療センター(仮称)を初めとする医療拠点機能の整備を進めており、その先駆けとして、基幹病院と連携し、医療集積に向けた検討を行っている。国際レベルの医療環境整備に向け、同地区が県内全域の医療や地域包括ケアを牽引する拠点となるよう取り組む。

用語解説 粒子線治療

電子より重い放射線を用いた治療。正常組織へのダメージはほとんどなく、体に優しいがん治療といわれているが、装置導入経費が高額で、公的な健康保険適用外といった課題がある。

公立高校 私立高校の役割分担

過疎地域では、学校の存廃が地域の存廃を左右する。県内全体の発展を考えれば、自然に人が集まってくる都市部は私立高校が、過疎地域は公立高校が受け持つといった役割分担が必要であると考えるが、所見を伺う。

答 公立高校は、教育の機会均等を確保する観点から、全県的視野に立ち設置している。国・公・私立高校の役割については、「本県における今後の高等学校教育の在り方を検討する協議会」における中山間地域と都市部の事情を考慮した議論を踏まえ、検討していく。

用語解説 広島県道路整備計画2011 「社会資本未来プラン」で示された社会資本マネジメントの基本方針に従い、道路分野の整備計画として策定。計画期間は、平成23年度～平成26年度の4年間で、投資予定額は、おおむね1650億円を予定。



# 常任委員会の動き

## 総務委員会

付託議案の審査結果  
補正予算一件、条例案三件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

産業廃棄物埋立税については、五年間の期間延長と循環型社会を形成するための用途の拡大に当たり、その施策目標を明確にするとともに課題解決に向けたスケジュールを示すこと。県の設置している検討会等については、委員の選定理由を含め、すべての検討会等の設置状況を把握すること。

「その他」  
県の未利用地の有効活用にあたっては、事業者を選定する際、県内企業の育成にも配慮すること。  
「その他」  
決算審査の結果を翌年度当初予算へ反映させるための検討など

## 生活福祉保健委員会

付託議案の審査結果  
補正予算一件、条例案四件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

産業廃棄物抑制基金条例の改正は、引き続き事業者へ産業廃棄物埋立税の負担を求め、基金の目的を拡大するものであるため、早い段階から議会と十分に議論する機会を設けること。また、このたびの同税の用途拡大は、産業廃棄物の排出抑制やリサイクル等の推進につながるが不明確であるため、速やかに具体的事業を提示すること。  
がん検診の受診率向上のため、市町と連携し、県民へのきめ細かい情報提供や個別受診勧奨の強化に努めること。

「その他」  
広島県防災会議への女性委員の積極的な登用など

## 農林水産委員会

付託議案の審査結果  
補正予算一件、条例案二件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

補正予算による公共事業については災害の未然防止を図る観点から、緊急性の高い農林水産施設の整備・改修等に、早期に取り組むこと。  
広島かきについては、引き続き、市場の拡大を図るとともに、高品質で安全・安心な「広島かき」のブランド力の強化に積極的に取り組むこと。  
県農林振興センターが担う分収造林事業の経営改革は、情報提供により県民の理解を得るとともに、土地所有者にも十分な説明を行って事業展開を図ること。

「その他」  
五日市漁港フィッシャリーナ施設住宅用地の価格改定など

## 建設委員会

付託議案の審査結果  
補正予算二件、条例案二件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

防災・減災強化対策では、県民の安全・安心の確保に資する社会インフラ整備を着実に推進するため、事業効果が早期にあらわれるよう取り組むこと。  
広島空港のアクセス問題は、早急な対応が求められていることから、現時点で可能な対策に取り組むこと。着実な成果を上げるよう努めること。  
近年、予想を超える雨量により各地で被害が発生しているため、既存施設の点検に加え、堤防の高さや強度等の調査を行い、順次整備すること。

「その他」  
建設業新分野進出支援補助金制度の継続など

## 文教委員会

付託議案の審査結果  
付託議案なし

### 主な質疑事項

いじめの詳細な実態把握に努めるとともに、認知件数のみで教職員を評価しない姿勢を明確にすること。また、保護者との連携を一層進めること。  
県立広島大学は、財源確保の自助努力を進めるとともに、本県の発展を支える人材育成機関としての期待にこたえ、魅力ある大学づくりに努めること。

「その他」  
公民館は、生涯学習の振興だけでなく、地域振興にも重要な役割を果たすものであり、他部門とも連携し、その機能強化を図ること。  
「その他」  
学校図書館の機能充実と地域の書店との連携など

## 警察・商工労働委員会

付託議案の審査結果  
補正予算一件、条例案二件  
原案可決(全会一致)

### 主な質疑事項

飲酒運転根絶に向け、取り締まりのほか、飲食店に対する意識改革など、飲酒運転の未然防止に重点を置いた取り組みを推進すること。  
医療関連産業クラスター形成事業の結果を確実に次の段階につなぐ、医療機器の生産額等において、目標以上の成果を上げるよう取り組むこと。  
愛媛県と共催の「瀬戸内しま博覧会」(仮称)は、本県の方針を計画に反映させるとともに、終了後、市町に財産として残るものとする。

「その他」  
中国・四川省で開催された国際博覧会への出展中止の経緯など

# 可決された決議・意見書

10月3日議決

意見書 決議

二〇二〇年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議  
衆議院小選挙区について市町村の区域に基づく区割りを求める意見書  
防災・減災のための事業に対する財政支援を求める意見書  
尖閣諸島海域への領海侵犯等に関する意見書  
韓国大統領の言動に抗議し、対韓国外交の見直しを求める意見書  
違法ドラッグに対する早急な規制強化等を求める意見書  
私学助成の充実強化を求める意見書

## お知らせ

### ●本会議場の団体見学

本会議等の行事のない日は、本会議場の団体見学ができます。  
午前9時～11時半、午後1時～5時  
(土・日、祝日等を除く)

### ●本会議の傍聴

本会議の傍聴ができます。  
本会議の開催日に、議会議場1階の受付までお越しください。  
受付/午前9時～  
先着順に50名まで

### ●委員会のモニター視聴

委員会の審議状況が、議会議場1階のモニターテレビでご覧いただけます。  
受付/委員会開催の1時間前～  
定員36名(希望者多数の場合抽選)

本会議、委員会の開催日時は、決定された第、ホームページでお知らせします。

### ●点字・音声版のお知らせ

視覚障害者の方へ「点字版」と「音声版(テープ版・デジター版)」を発行しています。ご希望の方は県議会議務局政策調査課までご連絡ください。

## みんなで徹底しよう「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を **贈らない!!**  
有権者は政治家に寄附を **求めない!!**  
政治家から有権者への寄附は **受け取らない!!**

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ること(会費などを、他の住民よりも多く支払うことなども含まれます。)は、法律で禁止されています。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

違反して処罰されると、公民権停止の対象となります。

## 広島県議会 広報委員会

本紙「ひろしま県議会だより」や、広報番組「ひろしま県議会ダイジェスト」の企画・編集等を行っています。

- 委員長 山下智之
- 委員 尾熊良一
- 委員 岩下智伸
- 委員 河井案里

## 決算特別委員会を設置

9月27日に、16人の委員で構成される決算特別委員会を設置しました。  
平成23年度決算について、9月定例会閉会后、約2カ月間審査を行い、12月定例会で審査結果が報告され、議決される予定です。

- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| 委員長 中原好治 | 副委員長 松浦幸男 | 副委員長 高山博州 |
| 委員 宮崎康則  | 委員 山下真澄   | 委員 森川家忠   |
| 委員 岩下智伸  | 委員 井原修    | 委員 栗原俊二   |
| 委員 吉井清介  | 委員 佐々木弘司  | 委員 辻恒雄    |
| 委員 岡崎哲夫  | 委員 石橋良三   | 委員 山崎正博   |
| 委員 渡壁正徳  |           |           |

## 広島県行政に係る基本的な計画の策定等を議会の議決事件等として定める条例

この条例は、10月3日の本会議において、全会一致で可決されました。

平成22年に制定した広島県議会基本条例で掲げた議会改革を具体化する取り組みの1つです。

条例のポイントは、総合計画(現計画では、ひろしま未来チャレンジビジョン)を新たに議決対象とすること、県行政の各分野の基本的な計画についても、策定までに執行部と議論を深め、議会の意見を反映できるようにすることです。

議会と執行部が車の両輪となって、県民視点に立った、よりよい政策や施策の実現を目指してまいります。

議会改革推進委員長が、条例制定の必要性を取りまとめた報告書を議長へ提出(9月25日)



## 広島県・ハワイ州友好提携15周年記念訪問団

広島県と米国ハワイ州が友好提携を結んで15周年を迎えることから、これを記念する行事などがハワイで行われ、本県議会からは議長を初め8名の議員が訪問し、この記念式典に参加しました。

また、ハワイの2つの広島県人会の設立45周年記念式典にも参加するなど、本県とハワイ州の友好をさらに深めました。



ハワイ州知事(最前列右側)、同州下院議長(左から2人目)との面談

- 【日程】平成24年8月21日(火)～8月27日(月)
- 【主要行事】  
・広島県・ハワイ州友好提携15周年記念式典  
・在ハワイ島広島県人会設立45周年記念式典  
・ハワイ州知事及びハワイ州下院議長との面談  
・ハワイ州立自然エネルギー研究所訪問

## この広報紙についてのご意見・ご要望をお寄せください。

ひろしま県議会だよりは、6月、9月、12月、2月の各定例会後に発行します。

〒730-8509 広島市中区基町10-52

広島県議会議務局 政策調査課

TEL 082-513-4743 FAX 082-222-9600



●インターネット中継...本会議の審議状況等をインターネット中継(生・録画)しています。

●テレビ広報番組の配信...「ひろしま県議会ダイジェスト」を配信しています。

●会議録の開覧と検索...本会議と委員会の会議録が登録されています。

ホームページ <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gikai/> 広島県議会 検索